



# Nature News

撮影：2023年11月2日 網張の森



ツルウメモドキ  
(ニシキギ科)



ツルリンドウ  
(リンドウ科)



ヤドリギ  
(ヤドリギ科)



ハウチワカエデ  
(ムクロジ科)



コマユミ  
(ニシキギ科)



ヤマブドウ  
(ブドウ科)



タムシバ  
(モクレン科)



オオウバユリ  
(ユリ科)



オオアカゲラ  
(キツツキ科)

散策コースや森の様子などお気軽に  
スタッフまでお声がけください。

オオウバユリの鱗茎(球根)は、アイヌ文化では代表的な保存食として知られています。6~7月頃、花のつかない若い株の球根を掘り、この球根を白でついてつぶしてから水をかけてこし、でんぷんをとります。このでんぷんは、食べる以外にもお腹をこわしたときなどの薬に使用し、でんぷんをとった後は繊維を発酵させドーナツ状に干して保存食としていました。

参考：公益財団法人 アイヌ民族文化財団 HP